



ハロウィンジャンボ宝くじの発売状況について

令和3年度のハロウィンジャンボ宝くじは、9月22日から10月22日まで発売されました。発売実績は昨年に比べ、全国で9.1%増、北海道では5.9%増となり、北海道への収益金配分額は昨年に比べ、32.2%増の約7億5,123万円となりました。市町村には時効金と合わせて令和4年2月中旬に交付する予定です。

Topics

協会事業のお知らせ



市町村職員国内先進事例研修（道内）を実施しました

令和3年度市町村職員国内先進事例研修は、10月13日（水）～10月15日（金）の3日間の日程で、13市町から13名の職員が、南富良野町、富良野市、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）建築研究本部及び鷹栖町を訪問しました。

南富良野町では、道内有数の貯水量を有し、釣り、カヌー・ラフティング等が盛んなため、アウトドアのメッカとなっているかなやま湖で、近年その生息数の減少が懸念されているワカサギの人工孵化の実証実験等を見学しました。また、町からは、釣り客の増加に伴い、ゴミの不法投棄や違法駐車が増加し、さらにはテント内の一酸化中毒事故の発生が見られることから、その対策の一環として行った釣り客への独自アンケート調査の結果についても説明を受けました。



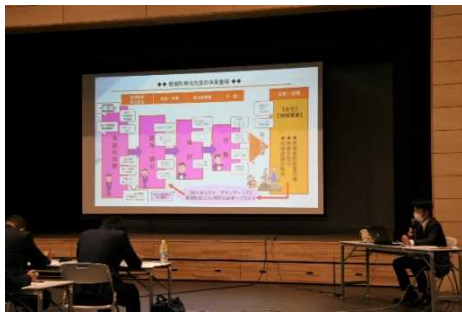
南富良野町 ワカサギ活性卵の人工孵化機

富良野市では、市の面積の約1/3を占める東京大学北海道演習林内の森を散策しながら、貴重な地域資源である森林の植生やその管理・育成方法を学びました。また、市からは小中学生対象に森林の中で直接樹木等にふれあう体験を通じ、林業や環境保全等森林を取り巻く多くの事柄について理解を促す取組＝「森林学習プログラム」について、説明を受けました。



富良野市 東大演習林

道総研建築研究本部からは、正解のない難問である人口減少対策については、50年後の望ましい「我がまち」の姿を冷静に捉え、そこから現在の課題と可能性を洗い出し、あるべき行動計画等の策定につなげる「バックキャスト思考」の重要性を学ぶとともに、積雪寒冷地における住まいや生活を向上させるための各種実証実験を体験しました。



鷹栖町 移住定住促進について

鷹栖町では、まちに暮らす人の”笑顔”を増やすことこそ、その姿に共感した他市町村の住民を引きつけることとなる「心」を呼び込む移住政策」について説明を受けました。また、移住政策の重点施策である「空き家対策」や様々な新規就農を目指す方々の研修施設として開設され、町等が様々な支援を行っている農業交流センター「あったかファーム」の取組について学びました。



市町村職員政策研修会を開催しました



「令和3年度市町村職員政策研修会」（後援・北海道、北海道市長会、北海道町村会）を10月22日、札幌市中央区のホテルポールスター札幌で開催しました。研修会には北海道と市町村との交流職員等約120人が参加し、講演に熱心に耳を傾けていました。

講演Ⅰでは、北海道大学公共政策大学院客員教授の小磯修二氏が「地方の論理」をテーマに、地域間格差が拡大を増していく中で、自治体の政策形成において、中央の理論とは異なる発想や視点で考えることの大切さを、交通政策や福祉政策を中心に、自身の経験した事例を交えながら講演しました。これからの時代を生き抜くためには、「画一的で効率的な中央の発想にとらわれることなく、地方の持つ多様で柔軟な発想＝『地方の論理』を活かすことが重要である。」といったお話がありました。

講演Ⅱでは、東京大学大学院情報学環特任教授の片田敏孝氏から「ウィズコロナ時代における危機管理」をテーマに、近年相次ぐ自然災害で大きな被害を受けている北海道において、地域の防災対策を担う自治体職員は住民とどう向き合っていくべきなのかについて、「ゼロリスクを目指すのではなく、リスクに向かい合う姿勢を自治体と住民と一緒に作り上げていくことが重要だ」と呼び掛けました。

なお、講演の要旨は、令和4年1月発行予定の市町村政策情報誌「プラクティス」に掲載します。

なお、講演の要旨は、令和4年1月発行予定の市町村政策情報誌「プラクティス」に掲載します。



市町村アカデミー等研修受講助成金の通知について

市町村アカデミー、国際文化アカデミー、建設研修センター及び下水道事業団研修センターが実施する研修を受講した市町村職員等の旅費を対象に助成を行います。公務による特別職（市町村長や議員、嘱託職員、非常勤職員等）の受講も対象となります。交付要綱をご確認の上、申請漏れのないようお願いします。

申請受付のお知らせは、令和4年1月中旬頃に各市町村へ電子メールで行います。

注：新型コロナウイルス感染症の影響により、一部オンラインで研修を行っている研修所もありますが、オンライン研修及び中止になった研修の旅費（キャンセル料等）については助成の対象外です。

今後の主な行事予定

※当協会の年末年始休暇は、令和3年12月31日(金)から令和4年1月5日(水)までとなっております。